事業所名　LOHAS・KOTI

作成日　：　平成　30年　12月　12日

目 標 達 成 計 画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目　標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	17h	普段の昼食の時間、利用者の食事を職員は見守り一緒に食事をしていない。 (職員が利用者と同じものを食べる事が出来ない為、普段は一緒に食事をしていない)	手作りご飯、おやつ作り等、行事の時には、職員も同じ席に座り、一緒に食べる 職員は、利用者と一緒に話をして、食事の時間を同じ目線でゆっくり楽しめるようにする	・職員は施設の理念を日々確認し、ケアできるようにする(職員会で理念カードを渡し、皆で読み上げる 理念を覚えて日々意識できるように話し合う) ・手作りご飯、おやつ作り、には利用者と一緒に席に着いてゆっくり時間を楽しむ。 ・毎日の食事でも一緒に食事をし、おやつを食べる事を試みる(違ったものを食べても、利用者と一緒に楽しめるか、それによる利用者の様子等観察)	12 か月	・毎朝の朝礼時に理念の唱和をして、意識してケアができるようにしている ・職員は昼食、おやつ共に利用者と一緒に摂りコミュニケーションを図って見守りをしている
2	35b	重度化、終末期のあり方について、入居時や状態の変化があった時には家族と話し合っているが、今回のアンケート調査で半数近くの家族が不安があると回答があった。	現在の入居中の家族に対し、重度化した時の対応、終末期のあり方について、ロハス・コティで出来る事と出来ない事の理解をしてもらう。	・家族に定期的に状態の報告と、緊急時の対応、重度化、終末期について話しをする。 (状態の変化があった時、ケアプランの更新時には話をして理解を促す)	12 か月	・入居の時には、ロハスでの生活と出来る事できない事の説明をしている 緊急時の対応や、高齢化と共に重度化した時 について、家族と話をしている
3	40a	運営推進会議には毎回地域の人の参加はあるが、家族の参加がない。家族に声掛けはしても、参加に至っていない。運営推進会議の内容を理解してもらっていない。	家族に運営推進会議に参加をしてもらう　また、運営推進会議での話し合いの内容を家族に理解してもらい、ロハス・コティの運営について知ってもらう。	・運営推進会議への案内をする。 ・個別で予定を声掛け、参加出来る方を確実にする。 ・運営推進会議の議事録の内容を、細かくし、参加していなくても、内容が理解できるように記録し、家族に配布する。 (それによって施設の運営等について知ってもらう)	12 か月	・運営推進会議の案内をしても参加する家族は 少ないが、議事録を細かく作成し、その時の資料を家族に配布している ・ロハスの理念については定期的にお便りに載せて家族に伝えている

注1)項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。
注2)項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。
注3)外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告してください。
注4)目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

事業所名　LOHAS・KOTI
作成日　：　平成　29年　12月　12日

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】

実施段階		取り組んだ内容（↓該当するものすべてに〇印）	
1	サービス評価の事前準備	〇	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		〇	②利用者へサービス評価について説明した
		〇	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		〇	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
			⑤その他（　　）
2	自己評価の実施	〇	①自己評価を職員全員が実施した
		〇	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		〇	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		〇	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
			⑤その他（　　）
3	外部評価（訪問調査当日）	〇	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		〇	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		〇	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			④その他（　　）
4	評価結果（自己評価、外部評価）の公開	〇	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
			②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
			③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		〇	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
			⑤その他（　　）
5	サービス評価の活用	〇	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
			②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した（する）
		〇	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した（する）
		〇	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ（取り組む）
			⑤その他（　　）